

# リガク責任ある鉱物調達

VER.1

制定: 2023年11月1日

リガク・ホールディングス株式会社

## 責任ある鉱物調達方針

リガク・グループでは、紛争地域諸国および高リスク地域で紛争の資金源となるリスクや、児童労働などの人権侵害、劣悪な労働環境などのあらゆるリスクとなる恐れのある錫、タンタル、タングステン、金、コバルトなどの鉱物問題を重大な社会課題として懸念しています。社会的責任を果たすためサプライチェーン全体で責任ある鉱物調達を推進します。

当社はこの責任ある鉱物調達の取り組みを具体的に推進するために、下記の活動を行う方針です。

- OECDデュー・ディリジェンス・ガイダンス<sup>※1</sup>に基づきサプライチェーンを適切に管理運営します。
- 業界標準規格であるRMI<sup>※2</sup>(Responsible Minerals Initiative)の調査票を採用し、一次購入先様のご協力のもと、サプライチェーンを遡った調査、リスク評価を実施します。
- RMAP<sup>※3</sup>(Responsible Minerals Assurance Process)に準拠した適合製錬業者から鉱物を調達するよう要請します。
- リスクが特定された場合は、是正対策を実施します。
- 米国金融規制改革法第1502条に基づき、米国証券取引所に上場している企業のサプライチェーンに関わる企業として紛争鉱物の使用状況について調査し顧客に報告するなど、他のリスクのある鉱物も含めて、顧客に対して適切な情報開示を実施します。

お取引先様に対しても、リガク・グループの方針をご理解いただき、遵守に向けた取組みを要請いたします。

※1.OECD デュー・ディリジェンス・ガイダンス: OECD Due Diligence Guidance for Responsible Supply Chains of Minerals from Conflict-Affected and High-Risk Areas

・OECD:「Organization for Economic Co-operation and Development: 経済協力開発機構」ヨーロッパ諸国を中心に日・米を含め多数の先進国が加盟する国際機関。

※2 RMI (Responsible Material Initiative): 紛争鉱物に関する取り組みを主導している団体

※3 RMAP (Responsible Minerals Assurance Process): 「責任ある鉱物保証プロセス」※RMIが提唱する監査

### 責任ある鉱物調達体制

調達担当役員を最高責任者とし、専任の推進担当メンバーを配置して取り組んでいます。各お取引先様と連携しながら、「リガク責任ある鉱物調達」に従った活動を推進しています。

#### ・責任ある鉱物調達調査

リガク・グループは、お取引先様に対して紛争鉱物の調査を実施しています。

調査票はRMIの帳票(CMRT: Conflict Minerals Reporting Template)を使用します。回収したCMRTに基づき、リスク分析を実施し、製錬／精錬所がRMAP認定されていないときなどリスクがあると判断されたときにはお取引先様へ更なる調査をお願いしています。

また、万一サプライチェーン上で紛争に加担する鉱物が見つかった場合には、調達先の変更など不活性化に向けた取り

---

組みをお願いしています。

児童労働などの人権問題が懸念されているコバルト等についてもRMIの帳票(EMRT:Extended Minerals Reporting Template)を通じて、サプライチェーン調査を実施し、製錬／精錬所の特定・精査を行うなど、継続した取り組みも実施していきます。